

完全な團員を一切を代表して十一年四月に在りて  
 十一年四月日本労働組合連合会に中心として  
 其の中心として八年前から日本労働組合連合会に中心として  
 面して全労働組合の中心として日本労働組合連合会に中心として  
 日本労働組合連合会に中心として日本労働組合連合会に中心として  
 日本労働組合連合会に中心として日本労働組合連合会に中心として  
 日本労働組合連合会に中心として日本労働組合連合会に中心として

「一」此三〇年六月一日に日本労働組合連合会に中心として  
 日本労働組合連合会に中心として日本労働組合連合会に中心として

脚 注

- 海田 重雄 高木清太郎
- 小島 謙五 高橋謙四郎
- 田見 宗智 石野 滋彦

財團法人協同会大正十一年

テ合同ノ歴史デハナカツタ  
 今回初メテ私ハ末席ヲ汚シコノ場面ヲ見テ實ニ喜ビニ堪ヘナ  
 イ

對立關係ガトリノケラレテ合同シタト云フ事實ハ資本家階級  
 ニ何ヲ與ヘタバロウカ今回ノ鐘紡爭議ソノ他ニ於テ各爭議團  
 ヲ統制スルコトガ出來ナイノハドウ云フ譯ダロウカ今回ノ合  
 同ハ劃期的ノモノデ實ニ慶賀ニ堪ヘナイ敬愛スル山内君ハ經  
 過報告デ述ベラレタガ如ク諸君ハ全ク兄弟デアル總同盟ガ長  
 男デ組合同盟ハ二男全國同盟ハ三男デアアル長男ガワカラズヤ  
 カ否ヤハ私ハ全クワカラナイガトモカク次男ト三男ハ提携シ  
 タ諸君ハ長男ヲモ諸君ノ下ニ來ル様ニシテハ如何コノ長男次  
 男三男ニ對シ日本海員組合ハ從弟デアアル從弟デアアル海員組合  
 ハ諸君ノ兄弟ガ仲ヨクスル爲ニ多少ノ勞ヲヲシマナイ  
 私ハ諸君ガ今回ノ合同ヲシテ日本ノ労働組合全体ノ合同ノ拍